

平成 18 年 10 月 11 日

各位

会社名  日医工株式会社
代表者名 代表取締役社長 田村 友一
(コード番号 4541 名証・大証第二部)
広報担当責任者 専務取締役 堀 昭弘
社長室 IR 担当 北尾 太一
TEL 076-442-7026
FAX 076-442-6707

平成18年11月期 第3四半期業績開示に関するお知らせ

日医工株式会社は、第42期 第3四半期(平成17年12月1日～平成18年8月31日)の業績について、下記の通りお知らせいたします。

記

医薬品業界においては本年4月に市場実勢価格に応じた薬価改正が実施され、業界平均6.7%の薬価引下げとなりましたが、ジェネリック医薬品の使用促進のための環境整備として代替調剤の仕組みが盛り込まれた処方せん様式の変更が4月より実施され、新しい様式の処方せんが増加することにより調剤薬局を中心としたジェネリック医薬品の市場が順調に拡大しております。

当社は厚生労働省から医療上必要な規格を揃えることならびに安定的に全国に供給することについての通知に対応すべく、迅速かつ確に規格を取り揃えるために、かねてより建設を進めてまいりました製剤開発センターを6月に稼動いたしました。今後の規格対応に寄与するものと考えております。また、流通体制の強化として7月より埼玉県久喜市に東日本物流センターを設置し、広域卸を中心とした流通網をさらに発展させ、ジェネリック医薬品の安定供給に努めてまいります。

新発売のジェネリック医薬品は7月に14成分25規格の追補収載品を上市し、早期の市場拡大に向けて全社を挙げて取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の業績は、売上高が216億66百万円、営業利益が28億14百万円、経常利益が26億76百万円、四半期純利益は15億57百万円と順調な成果を上げることができました。

平成18年11月期 第3四半期業績状況(平成17年12月1日～平成18年8月31日)

(単位:百万円)

<連結>	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
18年11月期第3四半期	21,666	2,814	2,676	1,557
17年11月期第3四半期	17,722	1,975	1,844	882
対前年同四半期増減率	22.3%	42.5%	45.1%	76.5%

【平成18年11月期(第42期)の展望】

平成18年第4四半期は7月に追補収載した品目の市場拡大に向けた販売活動を継続するとともに、将来積極的に薬剤の見直しを図る医療機関にターゲットを絞った取組みを実施いたします。

<平成18年11月期の連結業績予想>(平成17年12月1日～平成18年11月30日)

売上高 29,500(百万円) 経常利益 3,500(百万円) 当期利益 2,000(百万円)

以上